

we design your home and life style. impression for life, to you.

建てます。建てています。建てました。

ビマスオーナーたちの座談会

4組の夫婦のなかなか聞けない話



私たち、建てます。



私たち、建てています。



私たち、建てました。



私たち、建てました。

住んでみないとわからない話

Kaさま夫 : 北海道を離れて生活していたので、気がかりは冬ですね。暖房はどうしていますか?光熱費も気になりますね。

Iさま妻 : うちの都市ガスで、暖房はパネルヒーターだけです。はじめての冬を越しましたが、暖かかったですよ。ガス代は月2万円くらいです。

Koさま妻 : うちもIさんと同じです。冬は暖かく過ごせましたし、経済的です。

Oさま妻 : そういえば雪は落ちませんでしたか?

I・Koさま妻 : 落ちなかったですね。

Iさま妻 : 気密性が高いから暖かいんですが、2階は湿気がたまりやすいのかも…。除湿器を置いたら、すぐに解決しましたけど。

Koさま妻 : わかります。夏はすこし乾燥するので、加湿器を置いています。

Iさま妻 : 気密性つながりと言うと、音の心配はないですね。外の音は気になりませんし、大音量で音楽をかけて試してみましたが、家の中の音が外にもれることもないですね。

Oさま妻 : とところで、ごみ箱の置き場はどうしていますか?

Koさま妻 : シンクの下にスペースをつくってもらいました。引き出し式で便利です。

Iさま妻 : うちも。引き出すと、分別用のごみ箱が3つ並んでいます。

Koさま夫 : 玄関のテラコッタの掃除はどうしていますか?

Iさま夫 : 高圧洗浄でガーッと洗い流しています。きれいになりますよ。

Kaさま夫 : 実際に住んでみないとわからないお話を聞けて、よかったです。

奥さまに負けるという愛の話

Oさま夫 : こだわりは、車庫ですね。

I・Koさま夫 : おお、いいですね!

I・Koさま妻 : 男の人は、なんで車庫にこだわるんだろう…。

Kaさま夫 : うちの場合、ガレージは工房でもありますね。女房に頼まれてDIYで木工をするので。

Kaさま夫 : ガレージ反対でしたが、工房になると説得されました…。

Koさま夫 : いいですねえ。わが家は、妥協してバイクガレージになりましたよ。今はバイクないですけどね(笑)。世田谷ベースに憧れて、ソファを運び込んだりしています。

Iさま夫 : うちなんか、バイクガレージどころか自転車置き場で決着しましたよ…。

I・Koさま妻 : 充分ですよ!

家を建てることの楽しみ話

Oさま妻 : いろいろなハウスメーカーを見学して、断熱材の厚さなどの説明を聞きすぎたせいで、やたらと機能面が気になってしまっただけで決め手に迷いました。

Kaさま夫 : 機能の説明は、どこのメーカーも同じ。それぞれの価値観に合った提案が、決め手ですよ。

Kaさま妻 : うちの、ライフスタイルにぴったりの提案をしていただきましたね。

Kaさま夫 : いま住んでいる家の古材を新しい家におもうという青島社長の提案は、おもしろかったです。

Oさま妻 : 最終的な決め手は、塔屋とタイルの外壁ですね。提案に納得できたから、任せておけばいいという感じで、安心して完成を待っています。

Iさま妻 : 外壁や床など簡単に換えられない部分にはこだわりましたね。インテリアは建てているときから選んで、家が完成してからは、ウォールステッカーなどで模様替えを楽しんでいます!

Koさま妻 : 同じです!完成のイメージに合わせて、建てているときから、インテリア雑貨を集めていました。少しずつ、さらに家を整えていきたいですね。

4組のご夫婦

Kaさまご夫婦

座談会当日に仮契約を済ませたばかりの新米オーナーさま。家づくりのコンセプトは、「愛犬と共生する家」。

Oさまご夫婦

建築中で今年9月に完成予定。夢まであと一歩のオーナーさま。こだわったのは、車庫・塔・出窓のある部屋。

Koさまご夫婦

昨年10月にマイホーム完成。引っ越し後、愛娘が誕生し、幸せいっぱい先輩オーナーさま。一番こだわったのは、照明。

Iさまご夫婦

昨年10月にマイホーム完成。夢の生活を手に入れた先輩オーナーさま。インテリアや小物を上手に使って模様替えを楽しんでいる。

座談会を終えて

初開催の「ビマスオーナーたちの座談会」。ハウスメーカーに期待されていることや、完成後も家づくりは続いていることが改めてわかりました。オーナーさまの本音や思いは、今後の家づくりに活かしていきたいと思えます。また座談会を企画します。4組のみなさん、ありがとうございました。(広報・菅原 正剛)

桔梗フレンチ・モデルハウスで開催しました!



あおしま社長の

ことのは

代表取締役 社長 青島 康夫

地鎮祭の巻 ほろ酔いの神様に祈りを捧ぐ

地鎮祭は、その土地の神様(氏神様)を鎮めて、土地を使わせてもらう許しを得る儀式です。やらなくても家は建ちます。でも、私はケジメとして行うことをおすすめしています。

この儀式、なかなか厳か。まず、更地につくった祭壇にお酒・塩・米

などを備えて、神主さんが「ひょ〜」と声を発して神様をお迎えします。お供えを飲み食いしていただき、祝詞をあげて安全を祈願するわけ。神様を酔わせて願いごとをするとは、人間も調子がいいですよ。でも、遠い存在の神様が急に身近に感じませんか。これから地鎮祭を迎える人たちは、ほろ酔いで赤い顔をした神様が見守っているかもしれないですよ。

my sweet house

owner's interview

vol.2

owner
Sさま

早く帰りたい。
帰ったら、
もう出かけたくない家。

コンパクトな間取り、
こだわりのインテリア。

装飾を極限まで削ぎ落としたような、シンプルな外観のSさま邸。「コンパクトになって暮らしやすいですよ」と、ご主人は話してくれました。同じ場所にあった前の家は52坪。夫婦と子どもの3人暮らしでは、無駄に広かったといいます。建て替えを考えてはいたものの、惹かれる物件がなく、なかなか決心できませんでした。COZYとの出会いはCM。住宅にはリーズナブルで、印象に残ったそうです。ご夫婦は、函館市神山のオープンハウスを見学。「こだわりのインテリアがとてもよかった」と奥さま。それが決め手になりました。



夢のホームシアターだった。
叶える方法を考えてくれた。

キッチンのペンダントライト、階段とリビングのニッチ、トイレのクロスなど、家のあちこちにこだわりが見られます。なかでもすごいのが、ホームシアター。リビングの天井をうまく利用して実現しました。ご夫婦の希望を聞いて、このカタチを提案したのは、社長の青島だったといいます。「難しいと片づけるのではなく、実現する方法を考えてくれました。だから、信頼できたのです」とご主人が言えば、奥さまは「私たちの希望を何倍にもして応えてくれましたね」。夢のホームシアターは、やはり見ごたえがあったそうです。

ふたつの家族が暮らす、
ひとつの家のこだわり。

Sさま邸は二世帯住宅。奥さまのご両親と同居しています。家をつくる時、ご両親との境界線をじっくり考えたそうです。仲良く暮らしていくためには、重要だからと。具体的には、リビングの入口にドアをつけました。1階のご両親スペースに音がもれないようにするためです。

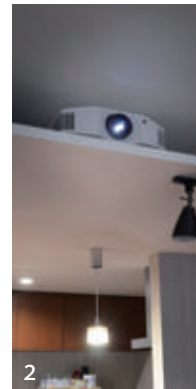
留学生がホームステイできる家というのも、譲れないポイントだったといいます。奥さまのご両親が留学生の受け入れを始めたのは10年以上前のこと。新居でもホームファミリーを続けてほしかったのだと、ご主人は話します。

設計図を立体映像にする。
新居での生活を想像する。

ずっと暮らしていく家だから、提案された設計図はしっかり確認したといいます。ご主人が機械設計の仕事をしているため、図面を3Dにして、人を配置して、生活をシュミレーションまでしたそうです。そこまでできる人は限られますが、それでも、設計図のチェックは必要でしょう。「自分たちの希望は、しっかりと伝えたほうがいいですよ。ピアスは、そこに伝えてくれました」と、奥さま。ピアスから図面が届くたびに、ご両親と一緒に確認しました。そう、理想のわが家のためには、自分たちが積極的に関わることがたいせつなのです。

SWEET HOUSE DATE

- ◇ 建物面積：152.57㎡(46.05坪)
- ◇ 構造：木造(2×4工法)2階建
- ◇ 間取り：5部屋+2つのLDK(2世帯住宅)
- ◇ 家族構成：6人家族



1. 2階のSさま邸のリビング。こだわりは、オープンハウスで一目惚れした壁 2&3. 自慢のホームシアター。キッチンから続く天井にプロジェクターを設置する場所をつかった。大画面での映像は迫力あり
4. 吹き抜けの階段は、はめ込みのガラスブロックと個性的な照明が印象的
5. COZYらしいシンプルな外観。2世帯だが玄関は一つにした

今回のsweet houseは

COZY <コージー>

このブランドのコンセプトは、「ちょうどいい家」。家は家族の暮らしを包むハコと考え、家族ごとにぴったりのハコが見つかるように、150種の間取りプランをそろえています。シンプルでコンパクトな家を理想としている方に好まれてい



ハコダテノ建テモノ

hakodate architecture spot

美しいたたずまいの館内に
宣教師たちの暮らしが残る。

美しい建物、めずらしい建物があれば目を奪われ、構造が気になり、資材をたしかめたいくなる。それが、建築家。そんな建築家が、函館の建物をマニアックに調査！

今回は「ホワイトハウス」。遺愛女子中学校・高等学校 事務長の島田宗人さんにお話を聞きました。



「往時の面影を感じてください」と事務長

設計は誰でしょうか？

米国人の建築家J.M.ガーディナーの設計で、明治41(1908)年に遺愛学院本館と同時に建てられました。米国人宣教師MCハリス夫妻が開いた学校なので、米国人に建築を依頼したのかもしれませんが。現在、本館は教室や職員室、事務室として使っていますが、ホワイトハウスは普段は入れません。ホワイトハウスの愛称のとおり、白壁が印象的です。尖塔や1・2階の間に設けられた胴蛇腹(建物の壁面に帯状に取り付けた突出部分)も美しいものです。

家具はどこ国のものですか？

扉の大きさなどアメリカンサイズだったりしますが、家具などインテリアは、いろいろな国のものが混在しています。軽井沢彫りのデスク、ドイツ製のピアノ、アメリカ製の冷蔵庫、日本の木製冷蔵庫…など、インターナショナルですね。館内は全て往時のまま保存されています。本棚の本まで、宣教師が暮らしていたころのまま。同窓生有志が定期的に掃除をしていることもあり、綺麗に残っていますよ。明治期の空気を感じられるのがいいですね。

ホワイトハウス(旧遺愛女学校宣教師館)

外国人宣教師の住居として建てられ、1968年まで使用されていた。2001年に国の重要文化財に指定。

■見学/7月下旬の2日間のみ館内一般公開、4月上旬のクロッカスの開花時期は外観のみ見学可



1. 品格のあるホワイトハウス。函館出身の文芸評論家・亀井勝一郎の随筆「函館八景」にも登場する 2. 建物の美しさを生み出す胴蛇腹 3. 和洋折衷なキッチン。左手に見えるのが、当時ゼネラルモーターズの子会社だったフリジデール社の冷蔵庫 4. 宣教師たちが使用していたタイプライター 5. 細工が施された照明は、食堂を照らしていた 6. 本棚には外国の本が並ぶ 7. 広間を飾るアーチ 8. レンガ積み基礎 9. いまもびかびかに磨かれた階段

ようこそ、beusな店へ

西洋の物語に出てきそうな、
中庭と暖炉があるくつろぎサロン。

pirica -ピリカ-

beauty salon

函館市日吉町にシャビーシックな一軒家の美容室がある。住宅地の一角にあるpirica(ピリカ)は、そこだけヨーロッパの街並みから切り抜いてきたようだ。その外観から、圧倒的に若い女性客が多いのかと思いきや、男女比は1:2。年配のお客さんも少なくない。「車いすのおばあさんがうれしそうに来てくれたり、小さい子ども連れのお母さんが、こんなにくつろげる美容室ははじめてとってくれるのを聞いて、そういう空間にできてよかったと思う」と、オーナーの入江さん。カラーなどの待ち時間は、ほとんどの人が中庭で過ごすという。秋が深まると、店内の暖炉のまわりが特等席だ。いずれカフェもオープンしたいそう。夢が広がるサロンでは、日常を忘れてくつろぎながら美しくなれる。

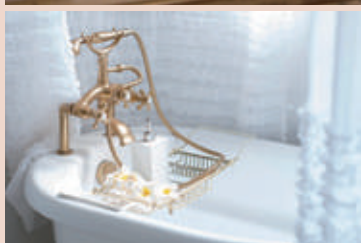
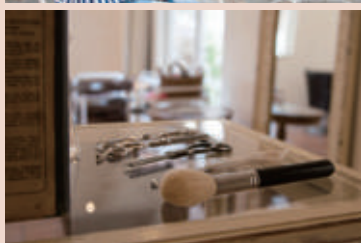
SHOP DATA

pirica (ピリカ)

函館市日吉町1丁目16-2
0138-56-7555

営業時間/9:30~19:00 定休日/水曜・第3火曜
駐車場/5台

Menu/カット:一般3,700円~ カラー:3,800円~
パーマ:5,000円~ トリートメント:2,000円~
ヘアセット:3,000円 フェイシャルマッサージ(30分):3,000円
クリームバス(炭酸泉シャンプー+ヘッドマッサージ/60分):6,000円



SHOP MEMO

【オーナー】入江 奈美 Nami Irie
【ブランド】インターデコハウス
【タイプ】店舗

INTERIOR+



ビアスの家をビアスらしくしているのは、インテリア。
今回はコーディネーター坂部が惚れ込んでいるアイテムをご紹介します。
お気に入り一つプラスして、暮らしをより美しくしませんか。

#2: 皿

秋だから、アートのように。

もともとカップ&ソーサーやグラスが好きでした。お皿を集めるきっかけになったのは、札幌の雑貨屋さんで出会った飾り皿。描かれていた絵がとてすてきで、一目惚れしました。そう、お皿って、装飾品にもなるんです！飾り皿なら、色が鮮やかなものがオススメ。画家やイラストレーターとコラボした限定品にも注目ですね。部屋に彩りを添えてくれますよ。

食器として使う場合は、食材の色を活かすものを選びたいですね。いまの流行は、シンプルなもの。装飾が施されていても白なら、どんな料理にも合わせやすいです。お客様にケーキを出す時は、派手め一枚を選んでみてください。食卓が楽しい雰囲気になって、ケーキがより美味しくなりますよ。



コーディネーター 坂部絵梨子のひとことアドバイス：
1,000円前後のものは、普段づかいにぴったりです。好きなものを探してみてください。

ホビーのススメ

hobby 2: 家庭菜園



今回の推薦人
本宿 辰聡

今年は、自宅の畑よりも会社の畑のほうがいい出来ですね

だから、おすすめします！
育てる喜び、食べる楽しみ。

家庭菜園を始めたのは、60歳を過ぎてからです。やってみたら、なかなか面白くてね。まだ寒い3月、タネを買ってきてポットに蒔いて、家の中で育てます。雪が解けたら、それを畑に植えるのですが、春が待ち遠しいですね。今年は、会社の畑にも自分でタネから育てた苗を植えました。すくすく成長する姿を見るのが一番楽しいですね。収穫したばかりの絹さやが、朝食の味噌汁に入っていたりするのも、うれしいものです。畑を楽しむコツは、神経質になりすぎないこと。ちゃんと育ちますから。ただ、大きくなることを想像してスペースを確保したうえで、タネや苗を植えてくださいね。



beus news

1.アトリエ、貸し出します。



シャビーシックなパリのアパートマンを思わせる、人気の桔梗フレンチ・モデルハウス(函館市桔梗町)。玄関横のアトリエの貸出を始めます。友だち同士のちょっとしたパーティーの会場として、作品展を開催するギャラリーとして、お稽古ごとの教室として…。自由なアイデアで、フリースペースをご活用ください。

●使用料:無料 ●日時:応相談(土日は貸出不可)
問合せ・申込み / Tel 0138-56-0555

2.ごみ箱、一緒につくりませんか。

DIYごみ箱づくり体験を開催します。組み立てキットにしているので、初心者でも簡単！数時間の作業で、インターデコハウスに似合う、木製のごみ箱が出来ます。自分で作ると、やはり愛着もひとしお。ぜひご参加ください。



●10月25日(日)開催 ●オーナーさま限定
問合せ・申込み / Tel 0138-56-0555

3.YouTubeチャンネルはじまっています。

何気ない日常の1コマからCMまで、ビアスの動画をご覧いただけるチャンネルができました。YouTubeで検索してぜひご覧ください。

YouTube

みさお、秋の一読

「巨匠に教わる絵画の見かた」

早坂 優子 著 (視覚デザイン研究所)

ベラスケス、フェルメール、ゴッホ、ピカソ、ダリ…。画家の人生を知り、人柄を想像して、私は初めて作品を好きになります。だって、ゴッホの人生はあまりにもドラマチックで、作品だけを語るのには難しい！この本で、ベン・シャーン(社会派リアリズムの画家)曰く、「ゴッホの絵画を居間の壁にかけるとは大きな誇りだろうが、ゴッホその人を居間に座らせるはめになったらそれは大変だ」。妙に納得。

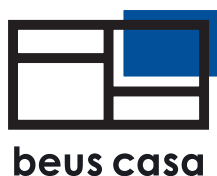


20年ほど前に買いましたが、今や娘の本棚に並び、私は美術館に行く前に読み返します。巨匠がそれぞれの芸術観で巨匠を評価しているのが面白く書かれ、絵画初心者も読みやすい。

芸術の秋、無性に美術館に行きたくなりました！
(専務/森山操)

うちって、朝から
本気で掃除する会社。

朝礼前の掃除は、外担当の気合いが違いますね。会社と両隣・向かいの前の道路のゴミ拾いをしていたのですが、なぜか競うように範囲を広げて、いまではかなり遠くまで掃除しています。これが近所の方の目にとまって推薦して下さったらしく、「小さな親切」運動函館支部から表彰されました！
(ビルドスタッフ/境 真理恵)



株式会社 ビアス

www.beus.jp

TEL 0120-56-0188

〒042-0942 函館市柏木町1-12

TEL 0138-56-0555 FAX 0138-56-0777

INTER DÉCO HAUS COZY

b.i.v HOMES

b-maison
-ビー・メゾン-